

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 津市の郊外に位置し、水稻を中心とする水田作が主体の中間農業地域
- 経営耕地面積0.3～1ヘクタールの兼業農家が大半を占め、主な従事者は60歳以上が多い(2020農林漁業センサス)

【支援内容・背景】

- 当該地区の水田面積は、約160ヘクタール。地域計画の目標集積率を50～80%としており、主要な3経営体で100ヘクタール強の作付けを目指す。
- これら主要経営体への耕作依頼は年々増え、経営面積の拡大が進むにつれ、効率的な生産・作業体系の導入確立が必要となっていた。



三重県津市

助成対象者「有限会社イケダグリーン」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 昭和60年 有限会社設立
ゴルフ場芝管理、造園等の事業に取り組む
- 平成4年 農業に参入
- 平成22年 経営改善計画の認定
- 平成30年 米のASIAGAP認証取得
- 令和3年 みえの安心食材認定(化学肥料、化学農薬について慣行比30%削減)

《事業活用の背景》

○(有)イケダグリーンでは、自社の造園事業から生じる芝サッチや地域の畜産農家の家畜糞から堆肥を製造し、資源循環に取り組んでいる。経営規模拡大に合わせて堆肥散布作業を見直す機会に、水稻乾田直播やドローン防除など作業の効率化を目指して新しい取組に挑戦、必要な機械類を整備することとした。

【事業実施時の状況】
〈R4年度〉

○付加価値額	1,400万円
○収入総額	2,180万円
○経営面積	21.7ha

《事業による整備内容》

- シーダー
事業費 2,018千円 (国費 1,009千円)
- 自走マニュアルスプレッダー
事業費 3,000千円 (国費 1,500千円)
- ドローン(防除用)
事業費 2,314千円
(国費 1,157 千円)



【現在の経営状況】
〈R6年度〉

○付加価値額	2,280万円 (162%)
○収入総額	4,010万円 (183%)
○経営面積	24.8ha (114%)

事業の
効果

《対象者》 作業の効率化により耕作依頼に対応可能となり、面積、収入など経営規模の拡大につながった。
《地区》 他の担い手もドローンを導入するなど、効率化や規模拡大に向けた体制作づくりが波及し、地域計画達成に向けた活動が実践されている。